



序

滝沢村の歴史は、農民の歴史でもありません。我々の現在あるは遠い祖先からの営々辛苦の遺産でもあります。過去を知ることが、現在を正しく認識するためにも必要欠くべからざることであるとともに、文化遺産を継承し、さらに、よりよい村を形成し、後世に引継ぐことが我々の責務でもあります。

しかるに、これらの歴史的資料が今まで不足しておったことは、村としても遺憾なことでありました。

本村で長い間教鞭をとられ、現在滝沢村文化財調査委員であり、また、社会教育委員でもある村内篠木在任の、福田武雄先生は、このことを大いに憂い、まず小中学校教師用としての村史執筆に着手され、爾来二十余年間、村誌の調査研究に精魂を傾けられ、その成果を原稿にまとめられたことは、まことに喜びに堪えないところであります。

今回先生のご厚志により、資料一切の提供を受け、村から出版する運びとなったものであります。

本書は、祖先から現在に至る道のりを、農民生活の変遷を中心として、広汎な調査資料に基づいて記述されており、

村誌の発刊は、今後の村勢発展の基礎資料として重要な意義をもつものであり、また、当地域の歴史に関心を寄せられている方々には好個の資料となるものであります。村民のみなさんも本書に親しまれ十分に理解と活用をしていただきたいと念願するものであります。

本書の編纂に永年にわたり、情熱を傾けられました福田武雄先生に対し、深甚なる敬意と感謝の念を捧げますとともに、資料の提供にご協力くださった方々、また、印刷を担当されました川口印刷工業株式会社のご協力に心から感謝申し上げます。

昭和四十九年四月

滝沢村長

滝沢 村長